

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第40週の発生動向

□ トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が1,717例あり、先週(1,841例)の約0.9倍となった。2022年の累積報告数は191,368例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

□ 全数報告の感染症 (40週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核3例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症6例。
4 類感染症：日本紅斑熱2例、レジオネラ症1例。5 類感染症：梅毒4例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	都城	70歳代	男	肺結核	発熱
			80歳代	女	結核性胸膜炎	胸水貯留
		高鍋	50歳代	女	無症状病原体保有者	なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	70歳代	男	—	腹痛、O血清群不明(VT2)
			0~4歳	女	—	腹痛、軟便、O157(VT2)
		都城	20歳代	男	—	腹痛、水様性下痢、O157(VT2)
			40歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O157(VT2)
			40歳代	女	—	腹痛、軟便、O157(VT2)
高鍋	5~9歳	女	—	水様性下痢、嘔吐、発熱、O血清群不明(VT1)		
4類	日本紅斑熱	宮崎市	20歳代	男	—	発熱、発疹、DIC、肝機能異常
		小林	70歳代	男	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常
	レジオネラ症	宮崎市	70歳代	男	肺炎型	発熱、意識障害、肺炎
5類	梅毒	都城	20歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			40歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			60歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性パラ疹
		小林	20歳代	男	晩期顕症梅毒	下顎リンパ節腫大

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は247人(定点当たり7.1)で、前週比95%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘及び手足口病で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱及び感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

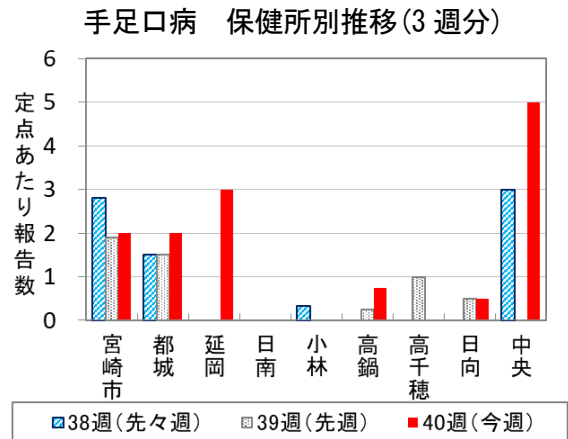
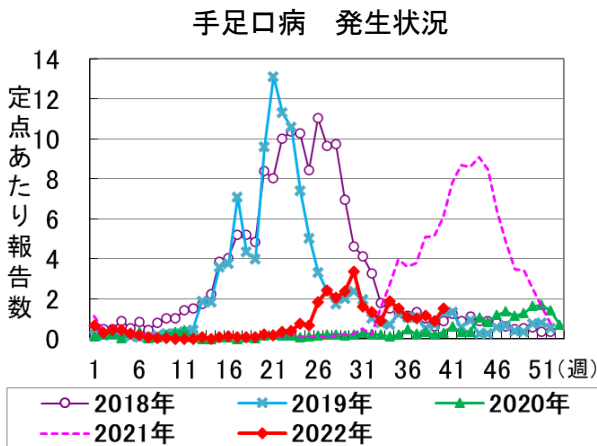
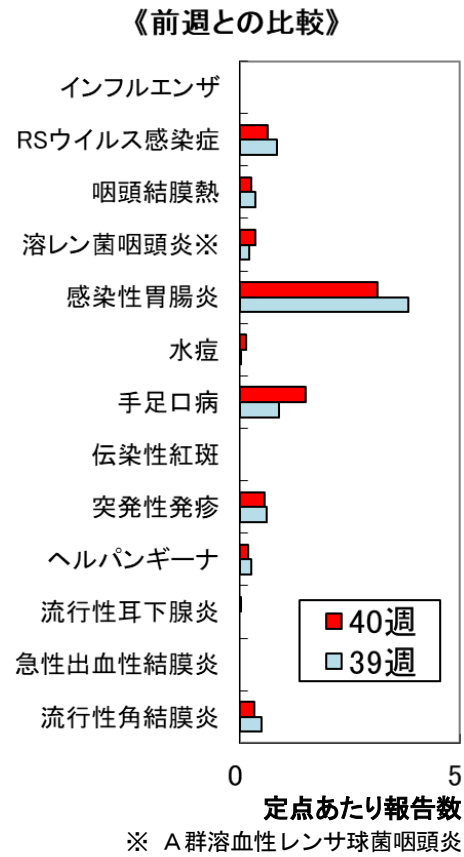
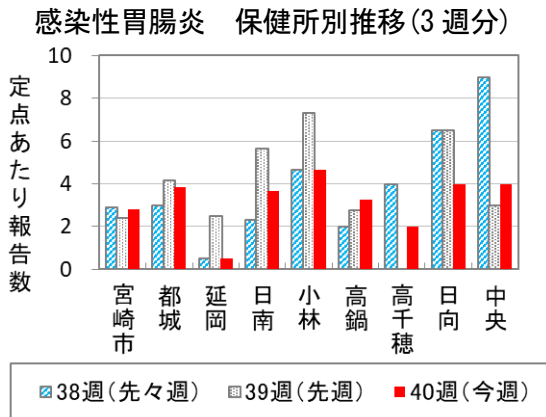
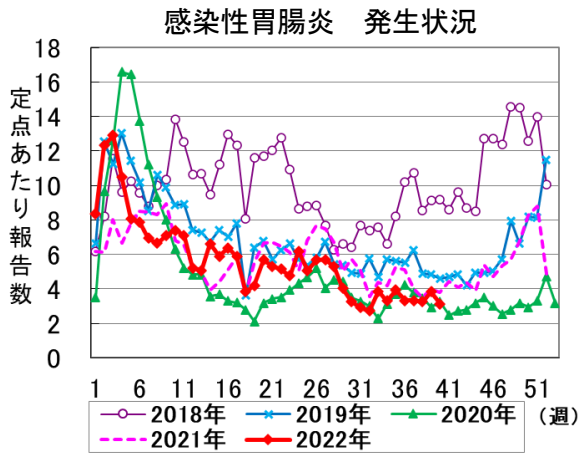
【感染性胃腸炎】

報告数は113人(3.1)で、前週比82%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.3)の約0.6倍であった。小林(4.7)、日向、中央(4.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約半数を占めた。

【手足口病】

報告数は54人(1.5)で、前週比169%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.0)の約0.8倍であった。中央(5.0)、延岡(3.0)、宮崎市、都城(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から2歳が全体の約9割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(5.0)

* 流行警報レベル開始基準値*
 ・手足口病(5)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年10月10日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(O26:H11 VT1)	10歳代	女	2022.09.08	胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2022.09.15
<i>Salmonella</i> Bareilly(O7:y:1,5)	10歳代	女	2022.09.10	無症状	便	2022.09.16
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	0～4歳	女	2022.09.17	発熱(39.0℃)、胃腸炎(水様性下痢)	便	2022.09.28
<i>Salmonella</i> Typhimurium (O4:i:-)	60歳代	男	2022.09.22	発熱(38.9℃)、胃腸炎(水様性下痢)	便	2022.09.28
<i>Bordetella parapertussis</i> (パラ百日咳菌)	0～4歳	女	2022.09.20	発熱(37.5℃)、 下気道炎(気管支炎、咳込み、嘔吐)	鼻腔ぬぐい液	2022.09.28
EPEC(O26:H11 VT1)	0～4歳	男	2022.09.27	発熱(38.0℃)、 胃腸炎(水様性下痢、出血性下痢)	便	2022.10.06

0～4歳の女児からパラ百日咳菌が検出された。パラ百日咳菌は百日咳毒素を産生しないため、百日咳菌と比較して症状が軽いとされているが、臨床症状から両者を鑑別することは困難である。現在保険収載されているLAMP法を用いた遺伝子検査ではパラ百日咳菌を検出することができないが、百日咳菌とパラ百日咳菌の遺伝子を同時検出可能な試薬が開発されており、2022年6月に保険適用となっている。

★ウイルス なし

📊 全国 2022 年第 39 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	226 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	113 例				
4類感染症	Ｅ型肝炎	9 例	A型肝炎	2 例	サル痘	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	3 例	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	3 例
	デング熱	2 例	日本紅斑熱	24 例	マラリア	2 例
	ライム病	2 例	レジオネラ症	51 例	レプトスピラ症	4 例
5類感染症	アメーバ赤痢	14 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	36 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例
	後天性免疫不全症候群	18 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	5 例	水痘(入院例)	3 例	梅毒	184 例
	播種性クリプトコックス症	6 例	破傷風	2 例	百日咳	6 例
	麻しん	1 例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 103%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は水痘と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと手足口病であった。

感染性胃腸炎の報告数は6,306人(2.0)で前週比 123%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.5)の約0.8倍であった。大分県(4.9)、宮崎県(3.8)、愛媛県(3.7)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約4割を占めた。

手足口病の報告数は6,218人(2.0)で前週比 88%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.3)の約1.5倍であった。宮城県(4.7)、山形県(3.8)、愛知県(3.3)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第40週(10月03日～10月09日)

疾病名	第39週	第40週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス	報告数	30	23	6	1		9	6		1	
感染症	定点当り	0.83	0.64	0.60	0.17	0.00	3.00	1.50	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	13	9	5				2		2	
	定点当り	0.36	0.25	0.50	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
A群溶血性	報告数	8	13	7		1	4	1			
レンサ球菌咽頭炎	定点当り	0.22	0.36	0.70	0.00	0.25	1.33	0.25	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	138	113	28	23	2	11	14	13	2	16
	定点当り	3.83	3.14	2.80	3.83	0.50	3.67	4.67	3.25	2.00	4.00
水痘	報告数	1	5	1	1	1	1			1	
	定点当り	0.03	0.14	0.10	0.17	0.25	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	32	54	20	12	12		3		2	5
	定点当り	0.89	1.50	2.00	2.00	3.00	0.00	0.75	0.00	0.50	5.00
伝染性紅斑	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	22	20	4	4	4	6	1			1
	定点当り	0.61	0.56	0.40	0.67	1.00	2.00	0.25	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	9	7		4	1		2			
	定点当り	0.25	0.19	0.00	0.67	0.25	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		1		1						
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	3	2	1		1					
	定点当り	0.50	0.33	0.33	0.00	1.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ	報告数										
肺炎	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～40週)

2類感染症	結核	92例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	55例(6)		
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	9例
	日本紅斑熱	9例(2)	レジオネラ症	2例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	6例
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	8例	水痘(入院例)	3例
	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	4例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	191368例(1717)		
			つつが虫病	7例
			レプトスピラ症	3例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	6例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
			ジアルジア症	1例
			梅毒	77例(4)
			百日咳	14例

()内は今週届出分、再掲